

対中国機攻防ジレンマ

領空侵犯の恐れがある外国機への航空自衛隊の緊急発進(スクランブル)回数が2016年度、過去最多の1168回を記録した。7割以上を占める中国機との「力と力の攻防」は不測の事態に発展しかねないジレンマを抱える。朝鮮半島情勢も緊迫しており、中国と北朝鮮という二正面への対応を避けたいとの本音も漏れてくる。

対決姿勢

「自衛隊のF15戦闘機が接近したり『妨害機』を『フレア』と呼ばれる火炎弾を発射したりして、中国機を危険にさらした。昨年12月10日、中国国防省は沖縄本島と宮古島間を通過した中国機に同日、空自機がスクランブルしたことをやり玉に挙げ、日本側を批判。防衛省は事実関係を否定し、「日中関係改善を損なうもので極めて遺憾だ」と対決姿勢を鮮明にした。

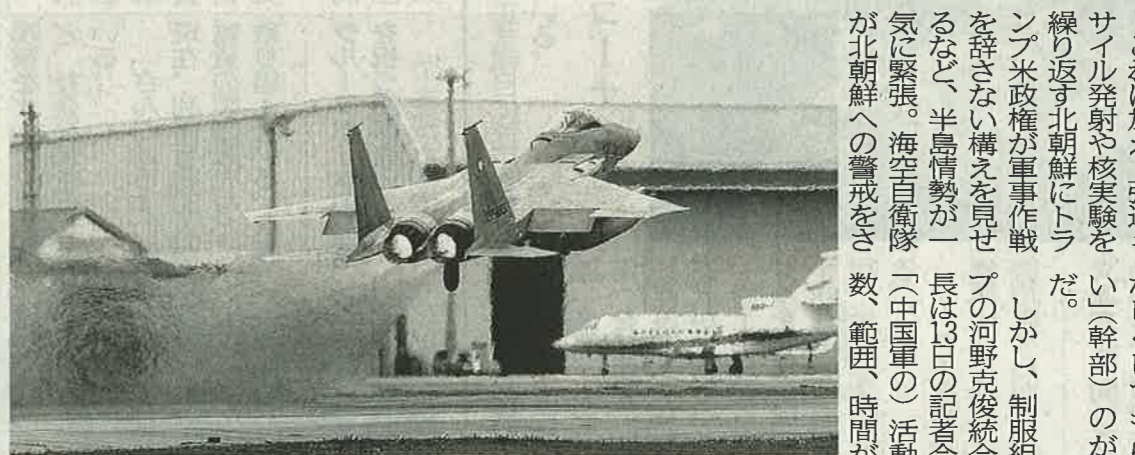
空自緊急発進 16年度最多

ただ、この際の駆け

関係者の話を総合す

半島緊迫 避けたい二正面

ると、自衛隊は北緯25度と26度の間にある尖閣諸島周辺で制空権を維持するため、北緯27度を「防衛ライン」に設定。しかし、事態の緊迫度を測る目安になるこのラインを超えて南下する中国軍機が近年急増している。こうした現状を踏まえ、防衛省は領空侵犯の恐れがある航空機1機に対し空自戦闘機2機で対処していたのを



緊急発進で離陸するF15戦闘機 (2015年4月、航空自衛隊那覇基地)

妙案なし

これに加え、弾道ミサイル発射や核実験を繰り返す北朝鮮にトラップ米政権が軍事作戦を辞さない構えを見せ、半島情勢が一気に緊張。航空自衛隊(中国軍の)活動の回数、範囲、時間が増え

Q&A

防衛省は領空侵犯に備えるため、領空の外側に設けた空域。国際法上確立した概念ではないが、防衛上の必要性から国際的に採用されている。航空機が通報なく侵入し、領空侵犯の恐れがあると判断されれば、戦闘機による緊急発進(スクランブル)の対象となる。中国は2013年11月、朝鮮半島の南側から台湾の北側まで日本の南西諸島に沿うように設定。沖縄県・尖閣諸島付近を含み、日本が1969年に定めた防空識別圏と重なり合っている。

次世代の医師生む契機に 高知大 中高生向け手術体験10年



手術体験を行う中高生ら(15日午後、南国市の高知大学医学部付属病院)

命を守る第一線の熱意を感じて。高知大学医学部付属病院(南国市岡豊町小蓮)が9年前から、外科医の仕事に触れる「手術体験セミナー」を中高生向けに開いている。受講者から医大生や医師が輩出されており、医療の道を志す若者の背中を押す機会になっている。外科医の仕事やりに

BPO「ビビット」審議へ

放送倫理・番組向上機構(BPO)の放送倫理検証委員会は、不適切な表現があったとして、TBSの「白熱ライブ」を審議対象とする。番組は1月31日放送。「多摩川リバーサイドヒルズ族」と題し、犬を飼うホームレスの男性らを「犬男爵」と呼ぶなどした。TBSは既に謝罪しているが、同委員会は「明らかな偏見と名誉毀損(きそん)的表現があり、看過できない」と指摘した。

糖尿病の治療に睡眠薬を直接使えるかのような表現をしたNHK総合の健康番組「ガッテン!」については、迅速に放送内容を訂正したとして、審議入りしないことを決めた。

JCBカード一時利用不能

クレジットカード大手のJCBは15日、同日午前11時すぎから約6時間にわたり一部の加盟店でJCBカードが使えない障害が発生したと発表した。既に復旧している。

オリンパス社員取訴確定

退職勧奨を拒否したら配置転換されたとして、オリンパス社員の男性(53)が、配転が無効であるとの確認と損害賠償を会社に求めた訴訟は、男性の取訴が確定した。最高裁第1小法廷(山口厚裁判長)が13日付で、社員の上告を受理しない決定をした。

振替予定日を四電誤通知

【高松支社】四国電力は15日、電気料金の口座振替結果を知らせる振替通知書に誤った振替予定日を印刷して発送した、と発表した。振替の済んだ日や金額など他の項目に誤りは

引きの実態は緊迫したものだった。ある防衛省幹部は、日中の戦闘機が「フレア」と呼ばれる火炎弾を発射したと証言。フレアは赤外線誘導ミサイルなどをかく乱するもので、双方のパイロットが攻撃される危険を察知し対応した可能性が高い。幹部は沖縄県・尖閣諸島を含む東シナ海情勢を「いつ何が起きてもおかしくない」と語った。

ンチ」の操作のほか、超音波メスで鶏肉の患部に見立てた部分を切除する体験や、皮膚や腸管を縫い合わせる模擬体験を行った。小津高3年の西内真菜さん(17)は「昔から人を助けられる医療の世界に憧れていて(セミナーで)将来がすごく楽しみに became 勉強を頑張りたい」と目を輝かせていた。

外科学講座(外科1)の花崎和弘教授(61)は「セミナーで人の命と信頼を預かる外科医のやりがいや面白さを知ってもらい、将来を担う人が生まれてくれたらうれしい。今後も継続したい」と話していた。セミナーは16日も行われ、約30人が参加する予定。

小型無人機ドローンでの講習会が15日、高知工大(香美市)で開かれた。ドローンを活用したり、導入を検討している企業や行政

講習会では、航空法で定められた飛行方法を説明するとともに、林業や山岳救助の現場での活用を紹介。航空撮影に使われる機体を使った飛行もグラウンドで行われた。

ドローン事故防げ 県推進協 安全運用へ初講習

香美市



ドローンの安全運用を学んだ講習会(15日午後、香美市の高知工大)で、同協議会は産学が連携し発足。防災や測量、農業などで利用が広がる一方で、墜落事故や無許可飛行の摘発も相次いでいることから、飛行操作や法律を学ぶ講習会の開催や情報発信などを行っている。

同協議会長の高木方隆・工科大教授は「ドローンを多くの人に知ってもらう機会をつくり、安全安心の運用をサポートしたい」と話していた。(佐藤邦昭)

【高松支社】四国電力は15日、電気料金の口座振替結果を知らせる振替通知書に誤った振替予定日を印刷して発送した、と発表した。振替の済んだ日や金額など他の項目に誤りは